

自然・生業・自然観 琵琶湖の地域環境史

橋本道範（滋賀県立琵琶湖博物館専門学芸員）編

- ◎自然に対する人間の観念（自然観）の本質はどのようなものであり、それはどのような原理で転換しているのだろうか――。
- ◎文理の枠を超えた多分野の研究者が、「生業」と「自然観」を軸に、1万1700年前の完新世以降、現代までの琵琶湖地域を対象に、自然と人間の関係を描き出す総合研究。
- ◎巨大地震、気候変動、資源の枯渇、そして地域の急激な人口減少に見舞われる現代日本に、新しい自然観の創造のための「地域環境史」を提起する。



2022年4月刊行

A5判・並製本・456ページ
定価4,950円（税10%込）

第1部 自然と自然観

- 第1章 繰り返された平安時代の近江地震 保立道久
― 地震の神・南海トラフ大地震・近畿東北部大地震―
- 第2章 幕末期における琵琶湖周辺の植生景観 小椋純一
― 「琵琶湖真景図」と「琵琶湖眺望真景図」を主な資料として―
- 第3章 近代琵琶湖漁業の漁獲量の長期的な変遷 藤岡康弘
― 人々は琵琶湖で何を採ってきたか―
- 第4章 琵琶湖のヨシ（葭）地をめぐる近世人の自然観 東 幸代
- 第5章 森林を介した地域住民とカワウとの歴史的関係の地域差 亀田佳代子・藤井弘章・牧野厚史・前迫ゆり

第2部 「ムラ」と自然観

- 第6章 先史社会における環境利用の稠密化 瀬口眞司
― 社会規模からの推定―
- 第7章 琵琶湖・淀川水系における中世漁撈について 刈米一志
― 御厨を中心に―
- 第8章 近世人の水と土へのまなざし 鎌谷かおる
― 湖岸村落を事例に―
- 第9章 中世惣村今堀郷の資源利用と自然観 春田直紀
― 集落のなかの森づくり―
- 第10章 日吉系祭祀にみられる自然観 市川秀之
- 第11章 カヤネズミの生息環境と半自然草地に対する意識と管理 中村（澤邊）久美子
- 終章 自然・生業・自然観 橋本道範
― 琵琶湖の地域環境史―



本書の「はじめに」を Web で公開しています

<https://www.chiisago.jp/>

ちい
ご
発行 小 さ 子 社
(2018年6月設立)

〒606-8233 京都市左京区田中北春菜町 26-21 TEL075-708-6834 FAX075-708-6839
<https://www.chiisago.jp> mail: info@chiisago.jp

■ご注文方法■ 小さ子社の書籍は、最寄りの書店・ネット書店で注文できます。

- (1) 書店へご注文 このちらしを書店にお渡しください。
- (2) 小さ子社ホームページから、直接ご注文いただくこともできます。
(クレジットカード使用可) 右QRコードをご利用ください。
- (3) 下記注文書の備考欄にご連絡先をご記入の上小社に FAX またはメール・お電話
→折り返し振込先をお知らせいたします。
先払い・送料別途 (1冊送付の場合 350円、2～4冊：650円、5冊以上：900円)

小さ子社 HP
本書詳細
ページへ



注文書 F A X 0 7 5 - 7 0 8 - 6 8 3 9 メール info@chiisago.jp

銚谷書店扱い 銚谷書店を通じ、日販・トーハン・楽天BNなどの帳合書店にお送りします 発行：小さ子社

【書店名・番線印】	冊数	自然・生業・自然観 琵琶湖の地域環境史	
	冊	定価：本体 4,500 円(税別)	ISBN978-4-909782-09-0
	ご担当者	備考・お客様情報・客注番号など	
	ご注文日		